

Rotary



宮崎南週報



感動と充実で豊かな夢と輝きを!

宮崎南ロータリークラブ
会長 日高 章智

第1822回例会

2015.3.2

会長／日高 章智 幹事／入佐 秀幸
副会長／川野 一義 会報／戸高 勝利
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／四つのテスト ひなまつり
ロータリーの目的／

会長挨拶

日高章智会長



3月となりました。3月は弥生草が生い茂る意味の「いやおい」という言葉が短くなつて「やよい」となつたと言われています。「三」は覚えやすく愛すべき数字の筆頭です。「三つ子の魂百まで」とか「石の上にも三年」といわれる節目であり「三歩退って師の影を踏まず」など一種の限界を表す数字にもなり、スポーツでも一、二、三でスタートし、ホップ・ステップ・ジャンプで跳ね、三球三振でアウトになり「三」はリズムの象徴でもあります。

外務省が昨年発表したASEAN調査（インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナムの七カ国）によればASEAN諸国の人々が「最も信頼できる国」として挙げたのはアメリカ、イギリスを抑えて日本が1位（33%）アメリカ2位（16%）イギリス3位（6%）ちなみに中国は（5%）でした。またASEANにとって重要な将来のパートナーとして挙げた国も日本が1位（60%）中国2位（43%）3位アメリカ（40%）の順だった。そのASEAN諸国の人たちが日本の印象として挙げたのは、1位が「技術的に先進国」（81%）2位以下「経済的に進んだ国」「自然の景色が美しい国」が続いて日本に貢献してほしい分野としては「経済技術協力」が77%でトップとなっている。

日本はASEAN諸国から高い信頼を得て、日本の技術力を必要としているかが表れている。特に発電技術、水技術、鉄道、公害対策技術など、アジア諸国をはじめ、中東、中南米、アフリカ等の新興国の発展と世界平和に貢献すべきだと思います。

出席委員会報告

分田正明委員長

●出席状況

本日状況	
会員数	(38) 40名
本日欠席者数	16名
本日出席者数	24名
出席率	63.16%

前々回状況	
会員数	(39) 40名
ホームクラブ出席者数	25名
メークアップ数	1名
修正出席者数	26名
修正出席率	66.67%

●前々回メークアップされた方／松本佳士会員

ニコニコ BOX	0件	0円
	累計 211,000円	

募金箱	3,350円
	累計 131,181円

幹事報告

入佐秀幸幹事



・次期地区チーム研修セミナーのお礼が届いております。

・日本事務局より3月のレート 118円

委員会報告

親睦委員会報告

太田寛子副委員長



・3月21(土)は蓮田ロータリークラブとの少年少女サッカー大会記念夜間例会を行います。

フェニックスシーガイア・リゾート

コテージ・ヒムカ 6:30~

・3月30(月)観桜会を行います。ニューウェルシティ宮崎

トピックス

●誕生日

橋口正樹会員

●結婚月

大迫三郎会員
小園隆司会員
大隈栄子会員
大野 勇会員



ロータリー情報

インターラクトクラブ(Interact Clubs)(IAC)

インターラクトクラブは、奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活動する機会を青少年に与えるために結成される。入会できるのは高校に在学中の生徒または年齢12歳から18歳までの若い人である。

その他の

40周年実行委員長

丸山一郎委員長



- 3月16(月)は宮崎南ロータリークラブ40周年記念式典です。皆様と一緒に式典を盛り上げて行きたいと思っています。

40周年ゴルフ担当

山崎栄一郎会員



- 3月15(日)は創立40周年記念ゴルフ大会です。多くの参加をよろしくお願ひします。

本日のプログラム

卓話

インターラクト委員会

大隈栄子会員



ロータリーに入会して6年が経ちましたがH23年、3年目からインターラクトを担当させて頂いております。

このインターラクトを担当する事により、多くの感動を得る事が出来ました。出会う事の出来た高校生は、皆素晴らしい生徒達ばかりです。

最初の年には口蹄疫の影響で殆どの活動と年次大会が中止となりました。

2年目は新燃岳噴火により、初の宿泊なし日帰り大会となりましたが、日頃の各校の活動を知る事が出来、そして他校生・他校の先生と初めてふれ合う事も出来て刺激になりました。どの学校の生徒も真剣にボランティア活動に取り組み少ない時間の中で一生懸命活動を行っています。自分の高校生の時は大違いで頭の下がる思いで一杯あります。

ロータリーに入会しなければ、インターラクト生という素晴らしい高校生達に出会う事が出来なかった、ロータリーに入会したからこそ、そういう出会いがあり感動がありました。

インターラクトは、国際交流と年次大会という大きな行事があります。

釜山3660地区との国際交流はとても想い出に残るものでした。

最初の釜山訪問の時は、初めての引率で学校の先生の代理という事もありスゴク緊張いたしました。高校生達はとても素直で釜山での交流を楽しみに自分達でしっかりと勉強もしてきました。規律も守ってくれて、本当に助かりました。この時にたった2日間で、韓国の高校生とうち溶け、片言英語、片言ハングル、片言日本語で自分達流のオリジナルの交流をくり広げていました。帰りには「まだ一緒にいたい」「別れたくない」と涙、涙…のお別れと

なりました。ここまで短時間で深く交流できるのは、この世代ならではの特性・特権だと思いました。

一昨年の7月末に韓国の方から霧島に1泊の日程で来日されました。この時も高校生達は自ら考え、オリジナルの手作りお土産「ウチワ」をプレゼントしていました。他には日本にしかないお菓子などです。若い人達の豊かな発想には驚かされます。

そして最後は、インターラクト生を指導して頂いている先生達の事についてですが、インターラクトは、先生方の指導なしには活動出来ません。インターラクトを担当して下さる先生方も、皆さん素晴らしい方々です。この先生方のインターラクトに対する情熱は、目を見張るものがあります。生徒達に対して上からの押し付けではなく、生徒達に自ら考えさせ、行動させて行くという、高校生主体の活動にしておられ、見守る側に徹して困った時にだけアドバイス、手を差し伸べるというスタンスを貫いておられます。その真剣な取り組みには頭が下がります。

先生方にも深く感謝致しております。

以上が私の今迄の活動、体験してきた事です。

誕生日卓話

橋口正樹会員



3月生まれは私一人しかいないそうで、やむを得ず、昔のことをお話します。

1931年3月6日が私が生まれた日で末年です。生まれた場所は東京都杉並区です。

それから一回り12歳から次の12年24歳まで波瀾に満ちた時代でした。

1943年（昭和18年・12歳）

戦時中 小倉中学校入学

1944年（昭和19年・13歳）

小倉市が空襲され疎開、大分県宇佐中学校に転校

1945年（昭和20年・14歳）

8月15日終戦、戸畠中学校転校

1947年（昭和22年・16歳）

第七高等学校文科甲類入学

鹿児島県出水市高尾野臨時校舎

1947年（昭和22年・16歳）

同校……休学

1948年（昭和23年・17歳）

同校……復学

校舎及び寮は城山城跡に新築されました。

1949年（昭和24年・18歳）

京都大学経済学部入学

1953年（昭和28年・22歳）

京都大学経済学部卒業 大学院修士課程入学

1955年（昭和30年・24歳）

ラジオ宮崎（MRT）入社